

日本計算機統計学会若手セミナー2020 プログラム

	開始	終了	発表者	所属	学年	発表タイトル	指導教員	座長	
9月6日(日)	開会式	10:30	10:35			開会の挨拶 (足立会長) ・ガイダンス			
	LT	10:35	11:30	全員(詳細はLTプログラム参照)				岡田謙介	
	発表1	11:30	12:05	今田 一希	東海大学	D2 打者のスイングについて 機械学習とGAMを用いた推定モデルの比較	山本義郎		
	昼休み								
	発表2	13:00	13:35	野村 圭史	東京大学	D1 2パラメータロジスティックモデル群を統合的に記述する理論枠組み	岡田謙介	富田誠	
	発表3	13:35	14:10	高澤 一平	同志社大学	M2 クラスター構造を考慮したスパース構造方程式モデリング	宿久洋		
	発表4	14:10	14:45	岸本 和久	岡山大学	M2 2次の重み付き一般化推定方程式を用いたデータ融合手法の提案	山本倫生		
	休憩								
	発表5	15:00	15:35	伊藤 真道	大阪大学	M2 行列分解に基づく主成分・因子分析の拡張について	足立浩平	酒折文武	
	発表6	15:35	16:10	福島 健太郎	東京大学	M1 多枝選択CDMにおける消去方略のモデリング	岡田謙介		
	発表7	16:10	16:45	田坂 理英子	大阪大学	M1 スパースモデリングにおけるSelective Inference	鈴木讓		
	休憩								
	発表8	17:00	17:35	岡 元紀	東京大学	M1 大規模テストにおけるQ行列推定法の性能評価	岡田謙介	丸尾和司	
	発表9	17:35	18:10	柚木 慎太郎	同志社大学	M1 多変量アウトカムに対する処置効果の推定について	宿久洋		
	休憩								
	懇親会	18:25	20:30						
9月7日(月)	発表10	9:30	10:05	岡 知樹	東京大学	M1 言語処理を用いた心理尺度の妥当性検証	岡田謙介	丸尾和司	
	発表11	10:05	10:40	生島 功貴	中央大学	M1 複合整数値自己回帰過程によるクレームモデル	酒折文武		
	休憩								
	発表12	10:50	11:25	亀井 友裕	大阪大学	M1 グラフィカルlassoの種々のアルゴリズム	鈴木讓	岡田謙介	
	発表13	11:25	12:00	大谷 諒	同志社大学	M1 一般化モーメント法を用いたATOの推定について	宿久洋		
	閉会式	12:00	12:10						

※ 発表者に割り当てられた時間35分のうち、研究発表17分・質疑17分(交代1分)を標準設定とします

日本計算機統計学会若手セミナー2020 ライトニングトークプログラム

順番	氏名	所属	学年	ライトニングトーク タイトル	指導教員
1	小西智貴	中央大学	M1	クラスターリング構造の変化検知	酒折文武
2	高澤一平	同志社大学	M2	クラスター構造を考慮したスパース構造方程式モデリング	宿久洋
3	生島功貴	中央大学	M1	複合整数値自己回帰過程によるクレームモデル	酒折文武
4	加藤秀佳	同志社大学	M2	事前学習モデルを用いた日本語文法誤り訂正について	宿久洋
5	伊藤真道	大阪大学	M2	行列分解に基づく主成分・因子分析の拡張について	足立浩平
6	棚橋真弓	東海大学	M1	shinyおよびleafletによる神奈川県内の新型コロナウイルス感染症の感染者マップ	山本義郎
7	成瀬柊壱	中央大学	B4	ベイズ能動学習とその応用	酒折文武
8	瓦井蒼之	同志社大学	B4	ノイズに対してロバストな線形判別分析	宿久洋
9	古田 旭宏	中央大学	B4	情報幾何学とフラクタル分布	酒折 文武
10	長瀬駿也	島根大学	M1	SEL0ペナルティを用いた推定について	山田隆行
11	大谷諒	同志社大学	M1	一般化モーメント法を用いたATOの推定について	宿久洋
12	岡元紀	東京大学	M1	大規模テストにおけるQ行列推定法の性能評価	岡田謙介
13	田坂理英子	大阪大学	M1	スパースモデリングにおけるSelective Inference	鈴木讓
14	福島健太郎	東京大学	M1	多枝選択CDMにおける消去方略のモデリング	岡田謙介
15	今田一希	東海大学	D2	打者のスイングについて機械学習とGAMを用いた推定モデルの比較	山本義郎
16	岡知樹	東京大学	M1	教育測定学から見た自動採点技術に関して	岡田謙介
17	館野 誠	中央大学	B4	機械学習による異常検知から流行話題の検出	酒折文武
18	亀井友裕	大阪大学	M1	グラフィカルlassoの種々のアルゴリズム	鈴木讓
19	小林 知陽	中央大学	B4	強化学習による敵対的生成ネットワークについて	酒折文武
20	四條拓哉	東海大学	M1	日本における新型コロナウイルスの再生産数の推定	山本義郎
21	大竹 梓月	中央大学	M1	ニューラルネットワークを用いた数式の自然言語処理とその応用	酒折文武
22	橋口舜弘	同志社大学	B4	ワッサーシュタイン距離を利用した正準相関分析について	宿久洋
23	野村圭史	東京大学	D1	2パラメータロジスティックモデル群を統合的に記述する理論枠組み	岡田謙介
24	柚木慎太郎	同志社大学	M1	多変量アウトカムに対する処置効果の推定について	宿久洋
25	岸本和久	岡山大学	M2	2次の重み付き一般化推定方程式を用いたデータ融合手法の提案	山本倫生

※ LTの発表時間は1人あたり2分以内とします